

四極会ホームページの閲覧状況

平成31年4月に100周年記念事業の一環として四極会ホームページをリニューアルして2年が経過しました。掲載情報を随時追加・更新し、会員名簿も使いやすく改善する等、内容の充実に努めています。掲載情報の提供について、支部の皆さんのご協力をお願いします。

○ 閲覧数が多い情報は？

令和2年度1年間におけるホームページの閲覧数は10,242件でした。どんなページが見られているでしょうか。閲覧数の多い順にページを並べてみました。

「本部行事」、「ニュース」、「100周年に向けて」の3つが1,200件を超えています。「本部行事」には行事予定、行事結果、寄附講義の日程や結果、評議員会で決定された毎年度の事業計画等が掲載されています。「ニュース」の内容は、叙勲を受けた会員の紹介や、会員の訃報をその都度更新しています。「100周年に向けて」の閲覧も1,232件ありました。令和4年度の記念式典に向けて現在四極会が最も力を入れている項目であり、募金情報もありますので、会員の関心が高まっていることが現れています。

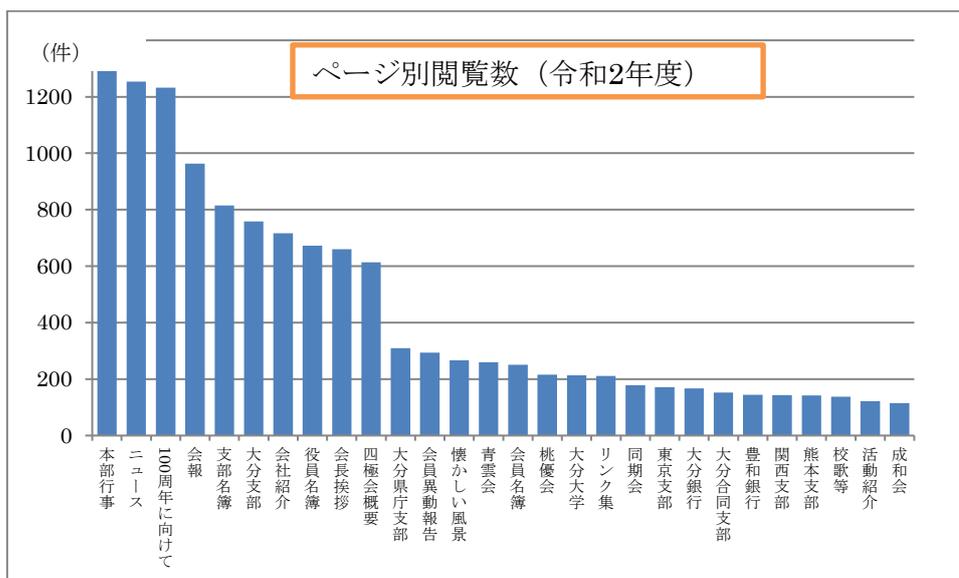
「会報」の閲覧は963件でした。平成30年秋号以降の会報〔四極〕を掲載しています。パソコンで開けば紙の会報と同じように鮮明な画面が現れます。年に2回の発行後ただちに掲載するようにしています。特に、過去の会報を見るのに便利です。その他「四極大分」、「青雲」、「東京四極だより」、「関西四極会報」、「ひろしま四極会だより」も掲載しています。

5番目の「支部名簿」、8番目の「役員名簿」、9番目の「会長挨拶」、10番目の「四極会概要」などが多いのは、四極会の街灯について知りたい人が多いことの現れです。

7番目で717件の閲覧があった「会社紹介」は、学生が先輩の会社に関心を持ったときにメールや電話で相談に応じる先輩を紹介しているページです。現在は7名の先輩に登場してもらっていますが、もっと充実していきたいと思います。

「会員異動報告」の閲覧も294件ありました。就職や転勤等で住所を移動した際にはこのページからご連絡いただくことになっています。正確な会員名簿の維持は同窓会の根幹であり、今後とも多くの会員に異動報告をご活用いただきたいところです。

同窓生の消息を知るのに役に立つ「会員名簿」の閲覧が251件と少ないのは残念です。セキュリティの点からアイディーとパスワードを設定しているのがネックになっていると思われます。



○ 支部ページの閲覧数

各支部が、それぞれ独自のホームページを持っているかのように活用できるのが四極会ホームページの売りのひとつです。支部の役員や会員数、募金実績といった基本的な事項だけをあらかじめ記載しており、それ以上の内容は各支部からの情報提供に頼っています。

支部のページだけを取り出して、閲覧数の多い順に並べてみました。

最も閲覧数が多いのは「大分支部」の758件でした。大分支部では支部事業計画、予算・決算から始まって、支部総会や各種交流会、歩こう会やゴルフ大会等の参加者募集や実施結果まで盛りだくさんの情報を掲載しています。

2番目から上位に並ぶ「大分県庁支部」、「大分大学支部」、「大分銀行支部」、「大分合同新聞支部」、「豊和銀行支部」は、実は独自の情報はあまり載っていません。それなのに閲覧が多いのは、支部会員に加えて、就職を考える学生が、何か情報がないかと覗いてみるのではないかとされます。そうだとすれば、職域支部のページは職場紹介の手段としても活用できるのではないのでしょうか。

職域支部以外では大分支部に次いで多いのが「東京支部」でした。各種の活動報告等が掲載されています。

「関西支部」「熊本支部」の閲覧数140件ほど見られる他は、各支部とも100件以内にとどまっています。これは端的に言って、情報が少ないからだと思われます。支部に関心を抱いて一度ページを開いて見ても中身が空疎であれば2度目はありません。

支部役員のみなさん、支部会員にお知らせしたい情報をどしどし提供してください。若い会員は何を求めているのでしょうか。リタイアした会員に喜んでもらえることはないでしょうか。

支部の自慢、掲げる目標、活動の記録、役員の思い、支部会員向けの時候の挨拶、何で

も結構です。メールで本部に送っていただければすぐに掲載します。これまでコンタクトの取れなかった若い会員の中に興味を持つ人が現れるかもしれません。支部活動を充実させるツールとして、ぜひ四極会ホームページを役立ててください。

